

# 第53回 桑名別院 晓天講座

**7/24(水)** 田畠 正久 氏(宇佐市佐藤第二病院院長・龍谷大学客員教授)  
「いのちをどう受け止めるか、医療文化と仏教文化」

1949年、大分県宇佐市に生まれる。宇佐市佐藤第二病院院長。龍谷大学客員教授。九州大学医学部在学中に仏教青年会に入り、細川巖氏に出遇うことにより、仏法とご縁を持つ。医療と仏教の協力関係の文化を創ることを目的に活動されている。

著書に、『老病死の現場から』(法藏館)、『生と死を見つめて』、(東本願寺出版)など多数。

**7/25(木) 藤原千佳子氏(金沢教区淨秀寺前坊守)  
「苦惱と大悲」**

1942年、桑名市に生まれる。真宗大谷派浄秀寺前坊守。

著書に、『慈光はるかに』I・II・III(浄秀寺)、『みひかりに遇いて』(大谷婦人会)、法話CD『お念佛に遇いて』、『仏さまのよびかけ』(東本願寺出版)など。

7/26(金) 菱木政晴氏(元同朋大学特任教授)  
「南無阿弥陀仏と声に出して言う」

1950年、金沢市に生まれる。宗教学者、真宗大谷派僧侶、元同朋大学特任教授。長年にわたり、真宗大谷派の戦争責任を追及すると同時に、政教分離訴訟など平和と人権の市民運動にも関わる。

著書に、『浄土真宗の戦争責任』(岩波ブックレット)、『殉教と殉国と信仰と—死者をたたえるのは誰のためか』(共著・白澤社)、『ただ念佛して—親鸞・法然からの励まし』、『極楽の人数—高木顕明「余が社会主义」を読む』(白澤社)他多数。

## 7/27(土) 里雄 康意 氏(大垣教区緑林寺住職・大谷派前宗務総長) 「生きていることの意味を求めて」

1949年、岐阜県に生まれる。1971年、大谷大学文学部卒業。前真宗大谷派宗務総長。大垣教区緑林寺住職。

**7/28(日) ジェシー遁盟 氏(四国教区誓願寺衆徒・尺八奏者)  
「命は誰のものですか」**

1979年、スイスに生まれる。幼い頃より日本文化への興味を持ち、24歳で日本に移住。キリスト教の環境下で育ったが、教えに納得できず自分の道を模索する中、仏教に出逢う。母の積極的安楽死による心の落ち込みから「命は誰のものか」と、深く考えるようになる。救いになった真宗と出逢い、親鸞聖人の教えに惹かれ、僧侶の道に憧れる。土佐清水にある誓願寺にご縁頂き、得度して、誓願寺の衆徒となる。法名は釋尼萌海。

また、尺八は琴古流師範、都山流師範となり、演奏家ジェシー・近盟として、演奏活動、弟子の育成に取り組んでいる。



## 真宗大谷派(東本願寺)

# 桑名別院 本統寺

〒511-0073 桑名市北寺町47番地 TEL.**0594-22-0652**  
桑名別院ホームページ <http://mie-betsuin.com/>

**桑名別院** **検索**